

令和2年度

# 学校関係者評価報告書

令和3年6月11日

学校法人 向洋学園

宮崎ブライダル&医療スポーツ専門学校

## 令和2年度 学校法人 向洋学園 学校関係者評価報告書

学校法人向洋学園は、当学園の教育理念、教育目的等をはじめとする学校教育及び学校運営について自己評価を実施し、「令和元年度 学校自己評価報告書」を取りまとめ、宮崎ブライダル&医療スポーツ専門学校専門学校に公表致しました。

また、この度、学校関係者評価委員会を設置し、当学園に関連する企業・業界の方々や教育関係者の皆様より当学園の学校教育及び学校運営に対し、幅広くかつ的確なご意見、ご指導を賜りました。頂戴いたしましたご意見等につきましては「令和元年度 学校関係者評価報告書」としてご報告させていただきます。

今後は、委員の皆様から頂戴いたしました貴重なご意見やご指摘を真摯に受け止め、大いなる気づきとし、当学園のより社会のニーズに応えられる学生指導と教育の質の保証及び向上を目指し、教職員一同邁進して参る所存でございます。

関係者の皆様には、今後とも尚一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年6月11日

学校法人 向洋学園

理事長 井手脇 康智

## 1. 学校理念

「全ての学生の夢を受けとめ、高い技術力と、豊かな人間性を備えたプロフェッショナルを育成し、社会に貢献する。」

## 2. 宮崎ブライダル&医療スポーツ専門学校校訓

誠実な人  
努力する人  
思いやりのある人

## 3. 学校の教育目標

1. 学生の夢を具現化するため、教育に携わる教職員一同は常に精進に努め、また、学校はその為の研修等を計画的に行う。
2. 高い技術力を習得させるため、関連業界との連携を深めながら、定期的に技術力の確認を行う教育プログラムを実践する。
3. プロフェッショナルとしての心を育成する為、キャリア教育の充実を図る。
4. 豊かな人間性の構築を目指し、校外での体験、教育の場を設ける。

## 4. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1. 安全な学校生活、円滑な授業を促進するため、学生の日常に配慮する。
2. インターンシップのあり方、企業との連携のあり方を再考し、業界のニーズと本校の学生の目標をマッチングさせる。
3. 社会貢献できる人材育成を教育の一つとして考え、学生に様々な社会との関わり方の機会を設ける。

## 5. 学校関係者評価委員一覧表

	氏名	所属	役職
1	稲用 博美	宮崎看護大学	理事長
2	池間 健司	学校法人旭世学園 宮崎第一中学高等学校	校長
3	阿波部 康志	株式会社 ニューウェルシティ 宮崎	総支配人
4	長友 あい	有限会社錦屋衣装店 ベニール錦屋	代表取締役社長
5	野中 和成	社会医療法人同心会 古賀駅前クリニック	事務長
6	井手脇 康智	学校法人向洋学園	理事長
7	井手脇 左子	宮崎ライダル&国際スポーツ専門学校	校長
8	井上 香	宮崎ライダル&国際スポーツ専門学校	副校長

## 6. 討議・意見交換について

1	大項目	教育理念、教育目的、人材育成像
	中項目	教育理念、教育目的、人材育成像
	◆特に説明、指摘なし	
2	大項目	学校運営
	中項目	諸規定の制定、学則・細則・内規等の整備、防犯対策、個人情報の保護、意思決定機関
<p>・「災害や人災に対し、防犯や予防の対策が制定され、実施しているか」の評価項目について、防犯、防災の対策において、職員の役割分担の確認、及び実践的検討、準備について検討する。また、学校全体での意識付けのための講演、訓練を計画していくことが説明された。委員より、「防犯・予防の必要性は年々高まっている」、「火災と自然災害で避難経路などの対応内容が異なると想定されるので、いくつかのケースに分けて訓練を検討すべき」という意見が出た。</p>		
3	大項目	教育活動
	中項目	理念・目的・人材像を反映したカリキュラム、カリキュラムの定期的見直し、キャリア教育、授業アンケート、授業計画、成績評価、単位認定、資格試験、教職員
	<p>・「授業評価の実施・評価体制が整っているか」、「授業評価がよりよい授業構成のために役立たされているか」、の2項目について、授業評価を実施していることを説明した。その上で、実施の回数や、評価の報告方法について改善の余地があるとアドバイスを受けた。「教員の指導能力の向上に対し、方策を採っているか」については、コロナ禍により、職員への研修等の機会に制限があることを説明した。平常化されることを念頭に、今後も専門科目や学生指導など、多岐にわたる分野での研修を計画する旨を説明した。</p>	
	大項目	学修成果

4	中項目	就職率・推移、資格取得率・推移、退学率の低減
	◆特に説明、指摘なし	
5	大項目	学生支援
	中項目	進路・就職への支援、学生相談への支援、学生への経済的支援、保護者との適切な連携、卒業生への支援体制
	◆「卒業生への支援体制を体系的に構築する必要がある」の項目については、卒業後の細かなフォローが学生のみならず保護者からも喜ばれる時代だとの指摘を受けた。本校のフォローアップ体制を強化する。	
6	大項目	教育環境
	中項目	教育施設・設備、学内外の実習・インターンシップ、危機管理
	・「教育上の必要性に充分対応できる教育施設であるか」、「IT 機器などの教育用設備が教育上の必要性に充分対応できるか」に関しては、教育施設や IT 機器は準備してあるが、Wifi を含むネット環境の充実を図りたい旨を説明した。「危機管理や防災についての体制や対策を周知しているか」の評価項目について、これからの防災の重要性や、訓練の充実を図ることが命を守ることに直結するため、さらに充実を図るべきだと指摘を受けた。現在、教職員及び、学生を対象にした防災講話や防災のワークショップを企画する方向で準備中である。	
7	大項目	学生募集
	中項目	学生募集活動の適正性、教育成果の伝達、入学選考、学納金
	◆特に説明、指摘なし	
8	大項目	社会貢献、地域貢献
	中項目	社会貢献、公開授業・出張講座、ボランティア活動
	◆「学校の教育資源などを有効活用した社会貢献を行っているか」の項目について、在校生、卒業生、職員などの人財を活用した貢献の方法を探る旨を説明した。「学生のボランティア活動を奨励、支援する体制が整っているか」に関しては、コロナ禍における学外での活動の難しさを踏まえ、校内でも可能な活動を実施するべきだと指摘を受けた。	
9	大項目	財務
	中項目	財務状況、監査、財務状況の情報公開
	◆	
10	大項目	法令遵守の状況
	中項目	法令遵守の状況、適切な学校評価への取り組み
	◆特に説明、指摘なしでない。	
その他 の意見	・委員より、項目毎に目標内容を決め、評価内容が分かる報告書にする必要があるという意見が出された。	

以上